
山梨北中ブロック交流研究会

テーマ

「小中に連携を深めることにより、
山梨北中ブロックの児童・生徒の指導に活かす」

I 主題設定の理由

山梨北中学区の児童・生徒の健全育成のためには、普段交流する機会の少ない小・中の教職員が共有の活動や話し合いをもち、教育上の課題を見つけ、より良い解決の方法を探り、連携を深めることが必要だと考える。

II 研究の内容

本ブロックでは、ここ数年、教師が地域を知るということで臨地研修を行ってきたが、毎年実施のため内容や方法にマンネリ化を感じ、課題として出されることが多くなってきた。そこで、今年度は学習会を兼ねて全体での「講演会」を実施した。

また、小中での授業参観や研究会を持つことにより、児童生徒への理解が深まり、小中連携して指導にあたることができると考え、今年度も2回実施した。

【第1回】講演会

日 時：8月6日（金）13：30～

場 所：峡東合同庁舎 1F会議室

内 容：講演『教師として、一人の人として』

講 師：長田 由布紀 先生（笛川中学校カウンセラー）

【第2回】授業参観（中学校）

日 時：11月14日（水）15：00～

場 所：山梨北中学校

内 容：山梨北中学校の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

【第3回】授業参観（小学校）

日 時：1月23日（水）14：00～

場 所：後屋敷小学校，岩手小学校

内 容：後屋敷小，岩手小の授業を参観し、情報交換や意見交換を行う。

III 成果と課題

1. 成果

○小学校の先生方に中学校の様子を見ていただくことは（またはその反対）、お互いの指導に有効であると思う。大変勉強になった。

- 授業を参観することで、小学校の段階でどこまで指導しているかを知ることができ、それを中学校でどのようにつなげ発展させるか考える良い機会となった。
- 小学校の先生方との話し合いで中1の子どもたちの理解がさらに進んだ。
- 小中の情報交換をすることができ、良かった。
- 小学校の英語教育が日常的にされていることのすばらしさが理解できた。
- 第1回交流研究会では、カウンセラーの専門的な立場からの講演を聞くことができ、とても参考となった。
- 今年度、臨地研修から講演会にシフトしたが、貴重な話をきくことができて良かった。
- 講演の内容も自分自身を見つめ直すいい機会になった。

2. 課題

- 授業後の研究会で一人一言ではあまり深まらないように思う。全体でテーマを決めて話し合ってはどうか。
- 小学校での指導で身についたことをいかに今後中学校で生かしていくか。
- 研究テーマに関わっての、授業後の研究会の持ち方が難しい。
- しばらくこういう形式でよいと思うが、何年か後、職員が入れ替わるので臨地研修も必要だ。
- 講演会は良かったが、スクールカウンセラーが講師だったので内容は子どもに関わる事(スクールカウンセラーから見た子どもの様子や、関わり方のアドバイスなど)の方が良かった。
- 講師は地域で活動している方の話も良いかもしれない。
- 交流は大切な事だが、1月のこの時期は進路指導やインフルエンザ対応などで慌ただしく感じる。

3. その他(来年度の方向性など)

- ※臨地研修の代わりに講演会を企画することもよいと思った。
- ※魅力ある講師を招いた講演会を楽しみにしている。
- ※小中の授業参観は必要だと思う。
- ※小中の授業参観は、今年度のような割り振りで均等化されやりやすかった。
- ※臨地研修の代わりに講演会にして1年目なので、来年度も研究テーマに関わる講演会をしてほしい。

(ブロック長：飯島 裕明)